

# 中国東南地域の民俗誌的研究

## ～漢族の葬儀・死後祭祀と墓地～



漢民族の祖先・靈魂・死後の  
諸観念を解明する

首都大学東京教授 何彬 著  
日本僑報社 ISBN 978-4-86185-157-5

### 葬儀のプロセスと葬法の歴史の変遷

明朝、清朝の文献資料をもとに、帝王から庶民の葬儀までの事例を検討する。土葬・火葬をはじめとする葬法の歴史の変遷、体・肉体・骨をめぐる認識から分かる漢民族の靈魂観、「巫」と呼ばれる靈能者の役割などを考察する。

### 死後祭祀から分かる多様な靈魂観

中国東南部の祭祀事例の記述とフィールドワークを通して、この地域の漢族における死が「正統的な死」と「正統ではない死」に分けられ、祭祀の様式が異なることを指摘する。また、福建省などで見られる「中元節」「普度」と呼ばれる複合的靈魂祭祀儀式について述べる。

### 墓と墓地の形態と漢族の他界観

漢族の他界観を、墓と墓地の形態から解釈し、その文化的機能を提示する。他界の存在とその構造、人と他界との媒介役の働きのほか、地表墓の源流とその変遷、墓の形と風水観念との関連、墓地から分かる多様な他界の構造などを探る。

### <目次>

#### 【序論 課題と方法】

- 【第一部 葬儀と葬法の解説】 第一章 階層と葬儀
- 第二章 葬法とその変遷
- 第三章 葬儀葬法と靈魂

- 【第二部 死後祭祀と祖先観】 第一章 死の正統性と非正統性
- 第二章 「中元節」の主役
- 第三章 死後祭祀の深層

- 【第三部 墓と墓地の深層】 第一章 墓・墓地の形態
- 第二章 墓と“風水”
- 第三章 墓地と他界



### 【著者紹介】

**何彬** 北京市生まれ。北京師範大学大学院中国文学部博士課程修了、文学博士。東京大学東洋文化研究所外国人研究員、東京都立大学文学部副教授を経て、2007年首都大学東京人文社会系教授、現在に至る。2011年3月、日本で歴史民俗資料学博士学位取得。主な研究対象は日本と中国及び東アジア地域の地域文化、民俗及び華人・華僑研究。中国民俗学会常務理事、国際アジア比較民俗学会副会長、日中口述歴史文化研究会副会長、日中人文社会科学学会理事などを務め、研究成果の交流及び社会還元、異文化の相互理解に積極的に活躍している。

ご注文は、日本僑報社 e-shop (中国研究書店)、アマゾンなどをご利用いただくか、またはこのチラシを書店にご提示ください。(トーハン 日販 その他 取次コード: 5752)

	中国東南地域の民俗誌的研究 ISBN 978-4-86185-157-5 発行日: 2013年12月18日 A5版 320頁 上製 定価: 本体 9800円 + 税	注文部数  部 (送料無料)	<b>ご注文 / 番線印</b>  ご注文の方は、 注文部数、住所 〒、氏名、電話番号をご記入ください
	日本僑報社 e-shop <a href="http://duan.jp">http://duan.jp</a>	送信 FAX <b>03-5956-2809</b>	